

平成29年度 会報誌



国際交流かわら版

平成29年9月29日号

発行 **金ヶ崎町国際交流協会**

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢55
金ヶ崎町中央生涯教育センター内団体交流室

TEL & FAX 0197-44-2099

E-mail kanegasaki.ifa@gmail.com

ホームページ <http://kifa.cocolog-nifty.com/>

月・火・木・金曜日(祝日を除く)午前10時から午後5時まで事務局が常駐します。

お知らせ
1

英会話クラスのハロウィンパーティ



日時：10月12日(木) 19:00~21:00
場所：アンダーバー(水沢区寺小路6-2)
会費：当日割り勘にします(3,000円以内の予定)

※会員以外の方もご参加いただけます。

駅通りのお店を貸し切ります！
楽しい仮装をお待ちしています♪

【お申込み】事務局まで、上記電話・メール等でお申し込み。締切:10月10日(火)

お知らせ
2

永岡地区 自治振興祭に出店します♪

KiFA フェアトレードミニショップ

日時：10月15日(日) 10:30~15:30
場所：永岡地区生涯教育センター

【お祭り 10:00-15:30】楽しい企画が盛りだくさん！！

作品展示、舞台発表、バザー、ニュースポーツ体験、映画上映、講演会、餅まき、食堂など

映画「バレンタイン〜揆」上映 / 12:30-

児童労働って？フェアトレードって？小さな一歩をふみだした、日本の女の子たちの奮闘記。

※前売券 300円は永岡地区生涯教育センターで購入できます(当日券 400円)。

講演会「若い心地の良い国」笹川泰利さん / 13:35-

青年海外協力隊OBで福祉施設勤務の笹川さんと、高齢化社会での生き方を考えてみませんか。

※入場無料



花巻市のフェアトレード&エコロジーショップ「おいものせなか」さん取扱いの商品を販売します！丁寧に作られた雑貨等を手に取ってご覧いただくことで、世界の生産者の方々に身近に感じることができます。



お知らせ
3

町芸術文化祭「はあと♡ママ」に参加します♪

KiFA 国際交流カフェ



留学生の方と交流しませんか？
お茶とお菓子もありますよ！

日時：11月11日(土) 10:00~15:00
場所：中央生涯教育センター 展示ホール
ゲスト：いわて留学生大使 陸 海璐さん(中国 江蘇省出身)
参加費：無料(直接会場にお越しください)

昨年まで開催されていた芸文ワークショップが新しいイベントになりました！子育て中のお母さん達が中心になって運営され、様々なコーナーが楽しめる1日です。

協会では留学生の方をお招きして「国際交流カフェ」を開催しますので、ぜひお越しください！

【イベントの内容】 ※託児あり

- クラフト系の各種ワークショップ
- セラピーコーナー
- ステージ発表
- 縁日コーナー、撮影コーナー
- パパのための料理教室
- 飲食ブース
- 活動報告 などなど

10月の英会話グループレッスン



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

合：初級英会話教室・英会話クラブ（中級）合同レッスン

講師：ディーン先生（アメリカ出身）

会場：街地区生涯教育センター

時間：19：00～20：45

※12日はハロウィンパーティです（1ページの案内参照）。

受講チケット：800円（1枚） 3,000円（4枚綴）

※ 会員以外の方は1回1,000円となります。

※ 受講生募集中！随時見学・体験受講ができますのでお問い合わせください。



姉妹都市ライネフェルデ・ヴォアビス市訪問記 中央生涯教育センター主事 高橋麻依子さん



9月7日（木）から10日（日）まで金ヶ崎町公式訪問団（小野寺正徳副町長、佐藤千幸副議長、高杉郁也観光協会会長、中央生涯教育センター高橋麻依子主事）が姉妹都市のドイツ ライネフェルデ・ヴォアビス市を訪問しました。今回の訪問では、マルコ・グロサ市長からご招待を受け、キルヒオームフェルド地区の800年祭へ参加した他、市内外たくさんの施設等を見学しました。

写真／スポーツ施設 記念植樹前



ノインシュプリング醸造所

4月に来町されたベルント・エーブレヒトさんのビール醸造所（ノインシュプリング醸造所）やアンドレアス・エバートさんのスポーツ・水泳施設では、全て市や施設でご準備くださった日本の桜を植樹し、両市町の友好がさらに深まりました。



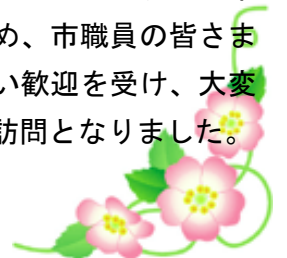
キルヒオームフェルド800年祭

キルヒオームフェルド800年祭では、ミサへ参加した後、戦没者追悼碑へ献花を行いました。夜は屋外テントの中で公爵の歴史のお話や子ども達のダンス、功労者表彰等が行われました。また、キルヒオームフェルド地区は「野バラ」の作曲者ヴェルナー生誕の地であり、町訪問団は感謝の意をこめて日本語で「野バラ」を披露しました。翌日、スーパーで「昨日の野バラはよかった」と声をかけられ、大変好評だったようです。



農場見学の様子

この他にもシャルフェンシュタイン城（1209年～）や強制労働収容所（第二次世界大戦時代）、農場等を見学いたしました。マルコ・グロサ市長をはじめ、市職員の皆さまから手厚い歓迎を受け、大変有意義な訪問となりました。



女子高生★ハワイひとり旅

会員 菅原尚子さんのご家族
高校2年 菅原こすずさん

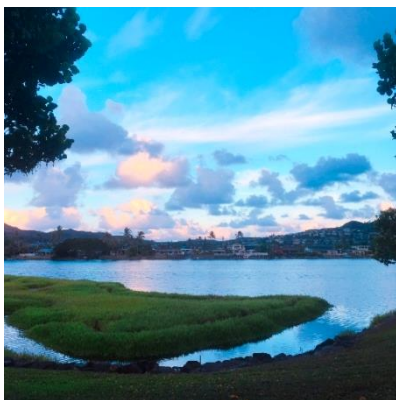
夏休みに1週間、1人でハワイへ行ってきました。ハワイには、母のいとこ優子さんが住んでいます。日本にいる優子さんのお父さんがすすめてくれました。海外旅行へ行くのは初めてだったので、パスポートの取得や飛行機の予約、ESTAの申請など、いろいろと勉強になりました。



降り立ったホノルル空港から見上げた空は、日本に比べて日差しが強く感じられました。優子さんと優子さんの夫ケンさんが出迎えてくれました。優子さん宅でしばらく休んでから、市内へ出かけました。スーパーマーケットでは、商品の並べ方が日本と違って、パッケージがかわいかったです。通りには、犬を連れて散歩している人が多く、鶏もそこらじゅうにいました。ちょっと驚いたのは、スーパーの中でも鶏の親子が歩いていたことです。ハワイは動物に寛容でいいな、と思いました。



優子さんが仕事を休んで、あちこちへ連れて行ってくれました。マカダミアナッツ工場へ行きナッツをたくさん割り、植物園では見たことのない植物を、海では驚くほど澄んだ水とウミガメを見ました。ハワイの歴史博物館ではハワイのことをたくさん知ることができました。歴史博物館に併設されているカフェのメニューがハワイらしくて、かわいかったです。



早起きして海へ朝日を見に行ったり、動物園、優子さん宅の近くの湖をケンさんと2人で散歩したり、朝から灯台へハイキング、優子さんと崖のような険しい道を散策、と、とにかくたくさん歩きました。体調がとても良くなりました。私は写真を撮るのが好きなので、写真をたくさん撮りました。

ケンさんからシュノーケリングを教えてもらいました。ケンさんはアメリカ本土出身で、「おはよう」と「お水」くらいしか日本語を話しません。私も "yes" "OK" "thank you" くらいしか英語を話さないのですが、なんとなく通じ合っていました。水中で魚の写真を撮りました。

最終日は、1人で買い物に行きました。ちょっと迷いましたが、かわいいかわいいお土産を買うことができました。カフェの注文を自分で頼めるくらいにはなりました。周りの人々は明るく親しげで、食事の間、知らない人同士でも楽しそうに話している様子が見受けられました。また、私がトイレの場所がわからなくてキョロキョロしていると、親切に声をかけてくれる人もいました。みんなに「ありがとう！」と言いたい気持ちでいっぱいになりました。帰国の飛行機へ乗るときは、優子さんとケンさんと別れるのがつらくて泣いてしまいました。またほかの国へも行ってみたいと思います。



ジャパンボウル ~タウンゼンド・ハリス校での取り組み紹介

「ジャパンボウル」というコンクールをご存知でしょうか？日本語学習者の上達度をはかる大会で、アメリカでは高校生を対象に開催されています。先月号のかわら版にご訪問記事を掲載したアメリカ在住の佐藤真理子さんが、ニューヨークのタウンゼンド・ハリス高校でジャパンボウルの指導に携わられているのでご紹介させていただきます。



ジャパンボウル(以下 JB)とは、アメリカの高校で日本語を履修している学生のためのコンクールで、今年で25年目を迎えます。全米から約35校、300名位の高校生が集まり、日本語の語学力や文化についての知識を試されます。私たちニューヨークのタウンゼンド・ハリス高校は今年が8回目の参加でした。一つのレベルごとに二人から三人の選手を決めて参加しますが、今年は日本語の4年生のチームが何と優勝してしまいました。他の二つのチームも4位、6位と健闘しました。上位入賞のチームは、日本政府の招聘で日本に旅行が出来ます。今年も広島での原爆記念日の平和式典に参加してホームステイも、東京では皇居にも招待されました。憲仁親王妃久子様がJBの後援者になっていらっしゃるからです。アメリカでは「プリンセス・タカマド」と呼びしていますが、毎年JBのために完璧なイギリス英語でメッセージのビデオを送って下さいます。

さて、ではJBではどんなことが試されるのでしょうか。まず、チームごとに会話の能力が試されます。審査員二人の前で自己紹介をしたり、質問されたりします。それから大きな部屋にレベルごとに集まり、パワーポイントの写される大きなスクリーンを前に筆記試験が100問出され、上位3位までが決勝戦に残ります。日本語二年生の質問の例は、聴解で「図書館に本が850冊ありましたが、300冊は古いので捨てました。――今、図書館に何冊の本がありますか。」日本語3年生では、「母は音楽が大好きです。クラシックやジャズやポップが好きですが、ジャズやポップはクラシックほど好きじゃありません。――お母さんが一番好きな音楽は何ですか。」日本語4年生では「先生、この漢字を教えてください」、を丁寧な言い方にしなさい」など敬語の問題もあります。



文化問題は歴史、地理、社会、時事問題、芸能など課題がたくさんあって、準備が大変です。ハリス高校で

は生徒が作ったオンラインのフラッシュカードを先生が(私が)点検してよりJBらしいものにしたり、私が文化の教材を苦労して作ったりします。文化問題は大体英語で出されますが、こういうものがあります。「海に全く面しない都道府県を書きなさい」「16世紀に鉄砲が伝来した島で、今は宇宙センターがある九州の島の名前を書きなさい。」「"羅生門"などの映画を作った監督は誰ですか。」「歌舞伎の幕は何色で出来ていますか。」「"鉄腕アトム"の作者はアニメの父と言われています。名前を書きなさい。」「芭蕉の"奥の細道"を英語に訳しなさい。」「ぐらぐらというオノマトペを使って例文を作りなさい。」

ハリス高校では、JBの準備は学生が中心になってします。JBの参加者はクラスで習っていることだけでは全国大会のレベルには追い付かないので、クラス内でグループになって会話や文法の練習を自主的にやり、先生が時々点検します。この自主性がなければJBに参加してよい成績を取ることは出来ません。クラス以外でも自分たちで集まったり、オンラインのビデオコンフェレンスの方式で一緒に勉強しています。週に1-2回、放課後に長いミーティングをして、模擬テストなどをしたり私が学生の質問に答えたりします。

日本語が大好きな学生たちは、いつも日本語の教科書を手にとって、バス停でも読んで練習しているようです。他の学生が日本語を嬉々として勉強する学生たちをちょっとあっけにと取られて見ているようです。そのくらい、日本という国に魅力があるということですね。

私はハリス高校で教え始めて14年になりますが、日本語のプログラムのレベルがどんどん上がって、トップの学生たちの熱意が他の学生も刺激してクラスのやる気が素晴らしいことを大変嬉しく思っています。私が疲れているときなど、ちょっと説明がはっきりしなかったりすると、学生に結構突っ込まれるのでこちらでも勉強を怠ることができません。

ハリス高校の学生の半分以上は貧困家庭の学業優秀な学生です。日本への旅行などは私費では払えない人が多いのですが、JBへの参加費用は、払える人は自分で払い、払えない人は資金集めのカレーライスセールをやったり、助成金に申し込んだりしてやりくりをします。

